

楽しむことで、膨らむアイデア

今年3月に「第32回ニイガタIDSデザインコンペティション[※]」において大賞を受賞した高井さんをご紹介します。受賞作品「くみ木の森」へのこだわりやデザイナーという仕事の魅力について伺いました。

「作品が評価されたら嬉しいなと思っていましたが、表彰式で名前が呼ばれた時は驚きと感動で舞い上がってしまいました」

大賞発表の瞬間を笑顔で振り返る高井さん。デザインやコンセプト、視点などいずれも高い評価を受けての受賞でした。「くみ木の森・おかえりどうぶつはうす」は、絵本のお話を読みながら、動物のくみ木パズルを組み立てる知育玩具です。歌・アニメーション・英語への展開もあり、多面的に楽しめる仕組みになっています。また、くみ木の材料にはブナの間伐材を使用しており、地域貢献の側面もあります」

今回の受賞をはじめ、輝かしい経歴を持つ高井さん。デザイナーを志したきっかけは、「大好きな絵を描き続ける仕事をしたい」という想いから。しかし、実



たか い ゆき え
高井 幸江さん（宮町）

【くみ木絵本作家 / 株式会社 Ibiza 代表取締役 / アートディレクター】

●ニイガタ IDS デザインコンペティション 大賞受賞



作品の遊び方を動画で公開しています▼



▲子どもも森も育てるおもちゃ「おかえりどうぶつはうす」は、燕市のふるさと納税の返礼品にもなっています

際に「デザイナー」として活動する中でその奥深さに気づいたといいます。「絵を書くこと自体がゴールではありません。届けたい相手にしっかりと意図を伝えることがデザイナーの役割だと思います。そのために依頼者の想いや情熱、空気感を感じ取り形にすることを大切にしています。さらに、私自身が楽しむこと、ワクワク考えることで新たなアイデアがどんどん膨らんでくるんです」

今後はより多くの人たちへ手がけた作品を届けたいと意気込みます。「くみ木の子どもたちに遊んでほしいです。英語の翻訳もあるので、いずれは世界中に届いたら嬉しいですね。また、ものづくりが好きな人が集まれる工房を作って、『燕のものづくり』を県内外へ広く発信していきたいです」

※ニイガタ IDS デザインコンペティション…にいがた産業創造機構が主催する「生活創造と社会進化の商品やシステム、サービスなどの開発と新潟特性の活用」をコンセプトとし、新潟産業の次代への提案力、発想力を発見し、発信していく機会を提供する審査会

紙上ブログ

燕市長 鈴木力



今年の田んぼアトは、大河津分水通水100周年にちなんだ「大河の恵み」をテーマに、従来の「吉田ふれあい広場西側の田んぼ」に加え、「大河津分水さくら公園脇の田んぼ」で実施します。

吉田ふれあい広場では、「大河の恵み」である農産物をのせた船が、次の100年へ向け出航する様子を描きます。

分水さくら公園では、農業、商業や工業に大きな発展をもたらした大河津分水路と雄大な信濃川を描きます。

既に田植えを終え、これから稲の成長に伴い巨大アトが浮き出てきます。展望台も設置しますのでどうぞ注目ください。

▲こちらは有料広告です。

おかげさまで 県央エリアご利用 11,000 世帯

高速光インターネット

NCT 光

好評受付中!

インターネット 300Mbps + ケーブルテレビ + 固定電話

光おとく割 キャンペーン 月額 6,600円 (税込)

※NHK受信料は含まれていません。表記の価格は税率10%に基づく税込金額です。※各種キャンペーンの適用には条件がございます。

インターネット・ケーブルテレビ・電話 0120-080-009

電話受付時間 9:30~17:30 (ドコモ光タイプCに関しては10:00~19:00) ※上記時間以外・土日祝・年末年始は時間外受付に転送されます。

※この広報紙は、環境にやさしいペジタブル・オイル・インクを使用しています。